

## 1 学校教育目標

○深く考え、自ら学ぶ人  
 ○自他を尊重する心豊かな人  
 ○心身ともにたくましい人  
 人権尊重を基調として、社会の変化に対応した知・徳・体の調和のとれた人間性の育成を目指して、全教育課程において、「夢・挑戦・自立」をキーワードとした教育活動を展開する

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	将来への夢や目標をもち、自立し社会に貢献できる人材を育む学校 ○ 一人一人を大切にし、互いの良さを認め合い、個の能力を伸長できる学校 ○ あらゆる場面・機会をとらえ、心と体を磨き鍛え、豊かな人間性を育む学校 ○ 地域・保護者・学校が手を取り合って生徒の育成を図る学校
○児童・生徒像	夢や目標をもち、自分で考え、判断・表現・行動し、課題解決できる生徒 ○ 基礎的・基本的な知識・技能と主体的に学習に取り組む態度を身に付けた生徒 ○ 友情や思いやりの心を育て、自他を尊重する心豊かな生徒 ○ 行事や部活動・奉仕活動に積極的に取り組み、地域に感謝・貢献できる生徒
○教師像	主体的かつ的確な判断ができ、組織として迅速に動くことができる教職員 ○ 危機管理とサービスの徹底・厳守を常に意識できる教職員 ○ 新学習指導要領を踏まえ積極的・意欲的に研修や授業改善に取り組み、自ら学ぶ姿勢で知識・視野を広げ、専門性を高める教職員 ○ 人間性豊かで、思いやりをもって生徒と接することができる教職員

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

・全校生徒が落ち着いた生活を送ることができている。教員の熱意ある指導により学習指導、生活指導、生徒会、部活動など充実した学校生活が営まれている。働き方改革を意識しつつ、指導体制を維持して今年度も取り組む。

・2年間授業改善推進校として全教員で授業改善に取り組んだ。全体のまとめに先立ち、各教員が4つの改善視点を受け個人研究に取り組み、成果と課題をまとめることができた。2年間の研究成果を生かし、今年度も授業改善に取り組む。

・不登校生徒や特別支援の必要な生徒に対して丁寧な指導を実践してきた。昨年度に引き続き、関係機関との連携を図り、一人一人の生徒に応じた対応を特別支援委員会が核として組織的に行っていく。昨年度第一学年全員面接を2回実施した。面談期間だけでなく、必要に応じて教育相談を実施する。また、教育相談技術の向上のため ケース会議等を通じて研修を深める。今年度も組織的に共通理解、共通行動、個別の支援を行っていく。

・近隣特別支援学校との交流、近隣小学校との連携・交流、地域町会自治会行事へのボランティア活動等、昨年度実施できなかったものについては、感染予防を継続しながら実施していく。

・昨年度、運動会は縮小開催にもかかわらず、多くの家庭から参観を得た。コロナ禍の中でも、保護者会は工夫して複数回実施できた。授業参観・学校公開は実施を見送った。今年度も魅力ある取組について考え、工夫して保護者・地域との絆を深め、信頼を得ていく。

#### 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	学力向上アクションプラン 基礎学力の定着と向上	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立	○	○	○	○	○
3	小中連携	○	○	○	○	○

#### 5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン 基礎学力の定着と向上							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題				達成度 ◎○△●	
授業改善、補充教室の工夫、家庭学習の定着化を図り、基礎学力を定着させ、学力を向上させる。		4月区学力調査目標値通過率 55% 年度未定着度確認問題平均正答率 55%	自己評価の際に記入						
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業改善	全教員 全教科	通年	授業のねらいを明確にし、発問や授業形態を工夫し、言語活動や話し合い活動を充実させ、生徒が主体的に学習に取り組む授業を実践する。生徒に、「授業が分かる」と実感させる。国語、数学、英語において、教科指導専門員による授業観察と指導・助言を通して、指導力向上を図る。	年間3回の授業観察・自己申告面接 生徒アンケート	生徒アンケートで授業が分かる 85% 学びのスタイル関連項目 85%	自己評価の際に記入		

2 継続	I C T 機 器を活用 した授業 改善	全教科担 任 全教科	授業観 察 日 常 と 自 己 申 告 前 後	I C T機器及び Google ア プリケーションや AI ドリ ルなどを効果的、効率的に 活用した授業について情 報共有や授業実践を行い、 授業改善を図る。	授業観察と自 己申告面接 生徒アンケ ー ト	授業で I C T 機器が活用さ れている 80%	<b>自己評価の際に記入</b>		
3 継続	家庭学 習の 習慣化	全生徒 5教科	毎日	年度当初の放課後補充教 室で家庭学習の方法につ いて指導する。 家庭学習ノートと連絡帳 を兼ねた冊子を作成し、毎 日提出させる。取組状況の 良い例を紹介、表彰するな ど学習内容の充実を図る。	毎日提出 担任が確認を 行う	提出率 95%			
4 継続	放課後補 充教室	全学年指 導を要す る生徒 数英の2 科中心 時期によ り国理社	水を除 く毎日	教科担当を中心に全校体 制で行う。 各種調査結果からつま ずき箇所を個別に演習する。 既習内容の復習をし、基礎 学力の向上を図る。 年度当初は家庭学習の指 導を行う。 定期考査前は質問教室を 行う。	計画的実施の 確認 年度末確認問 題	年度末確認問 題正答率 55%			
5 新規	サマー スクール	国語・社 会・数学 理科・英 語の学力 定着度の 低い生徒	夏季休 業日 6日間	夏休み前までの学習内容 における基礎的・基本的な 力を定着させる。	前期期末考査	中間考査より 点数が上昇す る生徒 80%			

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒自らがより良い学校づくりに参画し、いじめのない、安心して通える学校を目指す。		生徒アンケート 「花畑北中の生徒でよかったと思う」 85%	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
人権尊重教育の推進	生徒アンケート「友達や他の人のよさを見つけ、大切にしている」 90%	道徳推進教師が中心となり、道徳の授業をはじめ全教育活動で、思いやりの心や命を大切に作る心、規範意識、連帯感、自己肯定感、平和を愛する心を育む教育を推進する。	自己評価の際に記入		
キャリア教育の推進	生徒アンケート「夢や目標をもっている」 80%	主体的に将来を考え自立できる力を育成するために、職業教育や体験活動など、計画的にキャリア教育を推進する。自治活動の中で自分の役割を果たすことで主体的な体験活動の充実を図る。			
教育相談の充実	生徒アンケート「悩みを相談しやすい」 70%	相談室、はばたきルーム、特別支援教室の整備を推進する。教育相談・特別支援教育に関する研修及びケース会議を適宜開催する。			
「当たり前のできること」の質向上	生徒アンケート「ルールや挨拶などについて」 80%	挨拶、規律、TPOをわきまえた言葉遣いなど、当たり前のことについて指導する。また、生徒にマナーについて考えさせ、主体的に向上するよう指導する。			

重点的な取組事項－3		小中連携の推進			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
自ら学び続ける生徒の育成を目指し、学びの連続を意識した教育活動を推進する。	授業アンケート、交流事業アンケート 80%	自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
研究授業公開	指導案検討、授業公開などの研修を年6回実施する。	統一した学びのスタイル、生徒が主体的に学習に取り組む授業の指導案検討、研究授業研究協議を行う。	自己評価の際に記入		
教員の交流	共通の教育課題についての研修会や相互授業観察を実施する。	共通の教育課題についての研修会を行う。 相互授業参観を計画的に実施する。			
生徒・児童の交流	交流4事業を実施する。	近隣小学校児童への学校説明会、授業及び部活動体験の企画・運営を実施する。 夏季補充生徒丸付けボランティア、陸上指導を実施する。			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入